

♪ローカル線の小さな駅からスタート！あさい駅で会いましょう♪



全行程、約10.9km

この味"ンを目印に歩くと(個人差はありますが)、3時間~4時間程度でゴールです。Pやトイレが少なく安全なトレッキングコースです。

2015.10.12

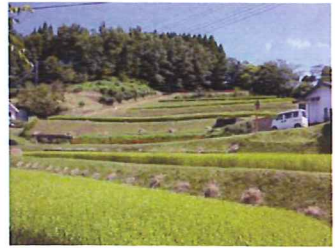
# あさい里の旅コース

九州と真ん中を走るJR豊肥本線・朝地駅がスタート。「道の駅あさい」がゴール。それぞれの「駅」が起終点の珍しいトレッキングコースです。往路では里山を歩き、素掘りのトンネルを抜け、石橋を渡ります。中間点では美術館と現代アートがお出迎え！そこは東洋のロダンと称される朝倉丈夫記念館(生誕地)。復路は原木シイタケの畑や里山、2つ目の素掘りトンネルを抜け「道の駅あさい」にゴール！「道の駅あさい」でお買い物も楽しめるトレッキングコースです。

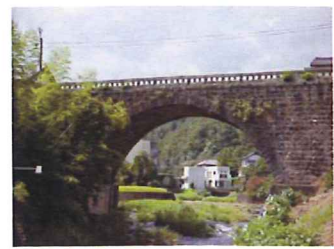


**5<池在橋>**  
石橋です！ じつは豊後大野市は石橋の数日本一その数じつに115！！ この橋は朝地駅の完成と同時期の大正13(1924)年生まれ。下流側からアーチ橋を覗き込むと、いい写真を撮ることができます。

**4<若林洞門>** **13<大戸隧道>**  
向うに一点のヒカリ！・・・これはいったい何でしょう？・・・じつは全国的にもたいへん珍しい「素掘りトンネル」で、正式名称は若林洞門、全長95m。復路にも大戸隧道(おおとずいどう；全長56m)があり、両方の素掘りトンネルをくぐると“出会いに恵まれる”という言い伝えがあるとか？



**3<国道57号の歩道橋>**  
渡る小さな尾根筋に民家が張り付く、このコースの特徴を感じます。ふり返ると、祖母山系がはるかに見渡せます。



**2<朝地橋>**  
駅前の橋。よくみると立派な石橋で、大正12(1923)年につくられたことが欄干からも読み取れます。朝地駅と同時に完成しました。

至・熊本方面



**1<JR朝地駅>** スタート地点  
スタートの朝地駅はひっそりとした小さな駅。でも九州オレレ・奥豊後コースのスタート地点としてすっかりおなじみ！8時半から14時半の時間帯は里の旅をサポートする地元女性スタッフがスタンプ！



**6<朝倉丈夫記念館>**  
東京台東区の朝倉彫塑館も人気ですが、ここでは生誕地の里山風景との調和が見事です。広大な庭園では、アジアの若手彫刻家によるエネルギッシュな作品に出会えます。庭園造形は東京スカイツリーのデザイン監修者、澄川喜一氏(東京芸大元学長)です。

**7<記念館の広大な庭園>**  
行く四季折々の花々や美しい蓮池があり、そこを抜けると、原木シイタケの畑(ほだ場)が迎えてくれます。



**8<このあたりから、里山の小さな尾根筋に民家が張り付いた、このコースの象徴的風景続きます。>**



**9<田村付近の牛舎兼用倉庫>**  
土地の傾斜を活用した兼用倉庫。下部に牛舎、上部に倉庫の伝統的なデザインが目を引きまします。



**10<田村棚田の湧水>**  
夏でも冷涼な湧き水は、生活に欠かせない冷水として地域に親しまれています(飲用不可)



**11<シラス層のトンネル跡>**  
切り立ったシラス層の道。昔はトンネルで、横には今も活用されているトンネル状倉庫！(個人所有の為、立ち入り不可)。



**12<お猿さんが牛に乗っている鬼瓦>**  
立派な古民家の家畜舎にある鬼瓦。「お猿さんが牛に乗ってる」鬼瓦です。



**14<大恩寺さん>** 小さな朝地の町が一望できます。山門を抜け長い石段を下ると、もうすぐゴール。



**15<道の駅あさい>** ゴール地点  
いよいよゴールの「道の駅あさい」！新鮮素材が豊富です。道の駅のイートン・キャフテリアはかわい「朝太郎」で、近接のバス停から、大分行と竹田行のバス便があります。

至・大分方面



「道の駅あさい」すぐ近くのバス停時刻表・石田バス停発

平日		土曜日		日・祝日	
竹田行	大分行	竹田行	大分行	竹田行	大分行
7:27	7:52	7:27	8:01	12:40	8:05
8:13	9:12	12:43	9:21	13:59	9:15
12:45	11:07	14:46	14:36	17:53	14:21
14:47	14:23	16:42		19:33	15:21
16:29		18:36			
17:37					
18:39					

※朝地駅へは、竹田行にご乗車下さい。

里の旅リゾート  
SATONOTABI RESORT  
LODGE ろっじ きよかわ  
KIYOKAWA  
Bungo-Ono, Oita  
879-6911  
大分県豊後大野市  
清川町宇田枝158